平成28年度

株式会社小谷製缶工業

会社紹介

施工図面の設計、製作、取り付けの一貫体制 質の高い製品作りで顧客との信頼関係を構築

昭和22年に創業し、46年に株式会社として設立。和歌山市岩橋の工場で、金属プレス・板金、建築金物・雑貨の製造を行う。建設用パネルおよび金物は、自社で施工図面を設計し、製作、取り付けまで一貫した責任体制を貫き、顧客の信用を得ている。特に、アルミを中心としたサッシの製造やドアの製造は、同社ならではの技術や経験を反映させた製品作りにおいて取引先との信頼関係を構築し、増産を実現させた実績を持つ。その他、産業機械や工作機械用精密板金加工、蚊取り線香燃焼容器を中心とする精密プレス加工にも対応している。主要な取引先に、YKKAP、三協立山、児玉兄弟商会などがある。

代表取締役 小谷　芳一

補助事業

生産工程の増強を図るため 必要不可欠な新設備を導入

近年、住宅やビルの改装需要が増加しており、アルミ建材の需要も増加傾向にある。これに伴い、同社にも取引先より短納期化や増産の依頼が増えている。また、同社のすべての案件が顧客要望に応じたカスタマイズであるため、それぞれが異なった寸法となるが、常に高精度の仕上がりを追求している。

「顧客満足こそが同社のポリシーであり、競争力の源泉になる」との判断から、生産性を高めるために同事業に取り組むことを決意。「デュアルドライブプレスブレーキ BH25040」(村田機械)を導入し、長尺物に対する曲げ精度の向上や製造時間の大幅な短縮を可能にさせ、同社の技術とノウハウを結合することで生産工程の増強を目指す。

成　果

最新鋭設備の導入により、増産、短納期、加工精度の向上、技術の伝承を実現

補助事業前は生産ラインが1本しかなかったため、社内の生産能力を超えると外注に出すしかなく、短納期の実現を妨げていた。しかし新設備の追加で、生産ラインが2本になり、社内で一貫生産できる体制を構築。今までは段取りと曲げ加工の工程に10日を要したが、2日でできるようになり、結果として増産、短納期化が可能になった。

また、加工精度においても、熟練の作業員が微調整を行ってきたが、最新鋭の設備を導入したことで、設備と熟練工のダブルチェックでさらなる精度の高さが現実化された。さらに、微調整の作業をデータ化することで、同社ならではの高い技術の伝承もしやすくなった。

達成度を数値化すると、20%の増産を実現。短納期化に関しては、段取り・曲げ加工が10日から2日に短縮したことで、全体の工程が12日と短くなった。また、加工精度の向上では、寸法公差が±1mmだったのが±0.5mmにまで可能となった。

今後の展開

生産力向上の安定を目指し 次世代の社員育成に取り組む

同事業により生産性の向上が実現したことから、さらなる注文を受けることが可能となり、増産を重ねていく好循環の環境が整った。今後も生産力の向上体制を安定させるために、増産分の作業を担当する従業員を新たに雇用して教育していきたいと考えている。同時に、同社のもう一つのテーマである、次世代の熟練工の育成にも取り組んでいく意向だ。

会社概要

会社名	株式会社小谷製缶工業
代表者	代表取締役　小谷　芳一
所在地	和歌山県和歌山市岩橋1213-2
資本金	1,000万円
従業員数	27名
業種	金属プレス・板金、建築金物・雑貨の製造
設立年月日	昭和46年
TEL	073-473-2243
FAX	073-473-2289
E-MAIL	kotaniseikan@earth.ocn.ne.jp